

カルメン

Carmen

オペラパレス | 6 回公演 | 全3幕 〈フランス語上演／字幕付〉

初演：1875 年 3 月 3 日 パリ・オペラ・コミック座

作曲：ジョルジュ・ビゼー Georges Bizet (1838-1875)

台本：アンリ・メイヤック／リュドヴィク・アレヴィ Henri Meilhac/Ludovic Halevy

演目選定にあたって

2007年初演のプロダクション。同年9月演劇芸術監督に就任した鶴山仁が新国立劇場オペラ初演出となった人気作品です。『カルメン』の演出について、「これは観る人の欲望が絵に描いたように実現するオペラです。ホセとカルメンの愛のピーク、“生(性)の究極が死に通ずる”クライマックスに至るまで、とにかく楽しみ満載のオペラですが、それらを描き切るために、フラメンコや闘牛士といったスペイン風俗など、視覚的な要素もふんだんに取り入れて、この絢爛たるドラマ、客席の皆様“しゃぶり尽くして”いただければと願っています」と語りました。

作品解説

〈ハバネラ(恋は野の鳥)〉〈闘牛士の歌〉等、誰もが一度は耳にしたことがある名曲で知られるフランス・オペラの代表作。ビゼーはこの1曲で19世紀フランス最大のオペラ作曲家としての地位を確立しました。P.メリメの小説をもとに、スペインの情熱を感じさせる魅力的な音楽と、男女の愛という普遍的な題材で展開するドラマは、世界中で人気オペラの筆頭に挙げられます。ビゼーが活躍した19世紀後半のパリは“オペラ花盛り”で、ビゼーに新作オペラを依頼したオペラ・コミック座は健全な社交場として賑わい、登場人物は王侯貴族や上流階級中心のオペラが上演されていました。そこへ、主人公のカルメンがジプシーの女工で、男を誘惑した挙げ句に殺されるこの作品は、当時のオペラ界の大スキャンダルと言ってよい程の反響を得ました。ビゼーの死後、友人のギローによってセリフの部分をレチタティーヴォに改められたウィーン初演版は大成功を収め、今なお世界中のオペラファンを魅了しています。2007年初演のプロダクションを再演。

あらすじ

たばこ工場で働くカルメンは町の男達の人気者。ある日、自分に無関心な伍長のドン・ホセに興味を抱き、彼に赤い花を投げつけて誘惑する。彼にはミカエラという許婚がいたが、カルメンの魅力と誘惑に負け、女工同士の喧嘩がもとで逮捕されたカルメンを、護送中逃がしてしまう。この罪で牢に入れられたホセは、釈放されると真っ先に、酒場で待つカルメンのもとに走る。カルメンは歌と踊りで彼をもてなすが、帰営ラッパの音に兵舎へ帰ろうとするホセをなじり、自分への愛の証としてジプシーの密輸団の仲間になるよう迫る。ホセはカルメンの魅力に負けて密輸団の一員となるが、当のカルメンは既にホセに飽き、以前酒場でカルメンを見初めた花形闘牛士エスカミーリョにのりかえる。恋敵エスカミーリョに業を煮やすホセのもとに、ホセの母の危篤を伝えようとミカエラが現われる。ホセは、カルメンへの想いに後ろ髪を引かれつつもこの場はミカエラと山を下りる。闘牛の日、カルメンを取り戻したい一心のホセは、群衆でにぎわう闘牛場前の広場に行く。着飾ったカルメンは闘牛へ向かう恋人、エスカミーリョと愛の言葉を交わして彼を闘牛場へ送り出す。一人残ったカルメンの前に突然ホセが現われ、よりを戻そうと懇願するがもはや相手にされない。嫉妬に逆上したホセは、隠し持った短刀でカルメンの胸を突く。

G.ビゼー
カルメン

Carmen / Georges Bizet

全3幕〈フランス語上演／字幕付〉

指揮……………	石坂 宏	
Conductor	Ishizaka Hiroshi	
演出……………	鵜山 仁	
Production	Uyama Hitoshi	
美術……………	島 次郎	
Scenery Design	Shima Jiro	
衣裳……………	緒方規矩子	
Costume Design	Ogata Kikuko	
照明……………	沢田祐二	
Lighting Design	Sawada Yuji	
カルメン……………	〈12日・14日・16日〉 森山京子	〈13日・15日・17日〉 谷口睦美
Carmen	Moriyama Kyoko	Taniguchi Mutsumi
ドン・ホセ……………	成田勝美	水口 聡
Don José	Narita Katsumi	Mizuguchi Satoshi
エスカミーリョ……………	成田博之	小林由樹
Escamillo	Narita Hiroyuki	Kobayashi Yoshiki
ミカエラ……………	安藤赴美子	増田のり子
Micaëla	Ando Fumiko	Masuda Noriko
スニガ……………	長谷川 顯	大塚博章
Zuniga	Hasegawa Akira	Otsuka Hiroaki
モラレス……………	青山 貴	清水宏樹
Moralès	Aoyama Takashi	Shimizu Hiroki
ダンカイロ……………	谷 友博	今尾 滋
Le Dancaïre	Tani Tomohiro	Imao Shigeru
レメンダード……………	大槻孝志	中嶋克彦
Le Remendado	Otsuki Takashi	Nakashima Katsuhiko
フラスキータ……………	平井香織	臼木あい
Frasquita	Hirai Kaori	Usuki Ai
メルセデス……………	山下牧子	清水華澄
Mercédès	Yamashita Makiko	Shimizu Kasumi
合唱……………	新国立劇場合唱団	
Chorus	New National Theatre Chorus	
管弦楽……………	東京フィルハーモニー交響楽団	
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra	

2010.7/12 (月) 1:00 7/15 (木) 1:00
7/13 (火) 1:00 7/16 (金) 1:00
7/14 (水) 1:00 7/17 (土) 1:00

オペラパレス

【チケット料金(税込)】

全席指定 2,100円(高校生のみ)

当日料金: 2,100円(高校生以下) / 4,200円(一般大人)